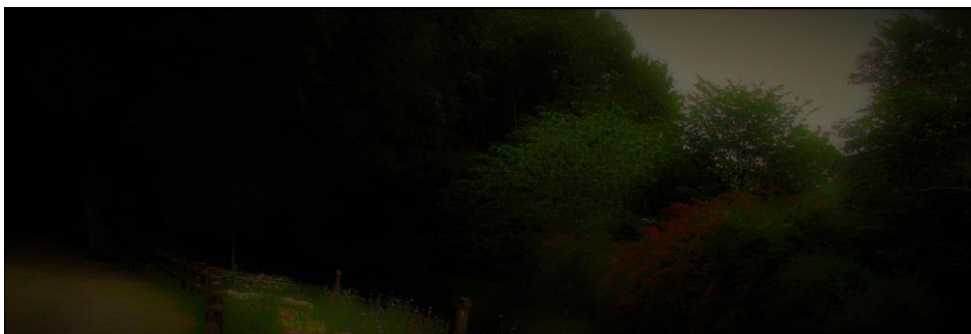




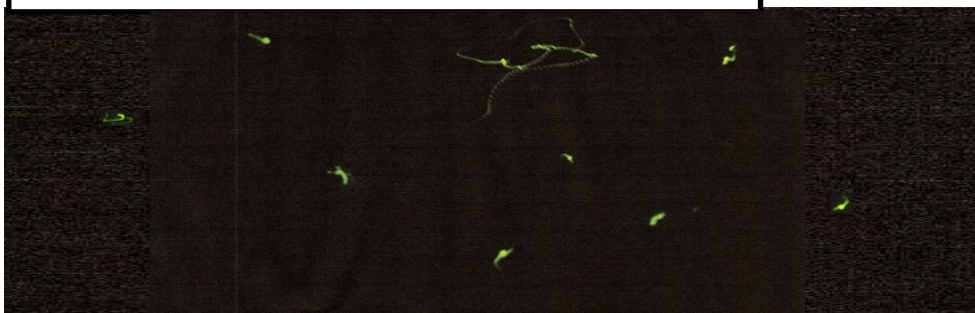
# みどりのまちづくりグループ 活動紹介 令和2年6月

大谷川源流のゲンジボタルが復活！

平成2年6月8日撮影



平成2年6月8日 午後8時00分～8時45分



大谷川のゲンジボタルが育つ環境作りの活動が実って、3年程前よりゲンジボタルの飛ぶ量が多くなりました。

活動1

大谷川クリーン作戦



活動2

源流左岸植樹



活動3

源流右岸花壇活動



今年はとても多くなりました。

みどりのまちづくりグループは、みろくの森から庄内川を経て道風ゆかりの里まで、生態系豊かな緑の回廊づくりを目指して活動しています。

# 1. 大谷川源流の位置

## 春日井市



## 大谷川源流



## 2. ゲンジボタル復活のための調査

平成17年4月: 中部大学学生(応用生物学部 ビオトープ管理士の牧野裕史君中心)と協働で源氏ホタルのビオトープづくりをすることになりました。

### 大谷川上流 ホタルビオトープ製作案

牧野 裕史

#### 1. 目的

大谷川上流の一つの淵に人為的に手を加え、目標種であるゲンジホタルが自然に生息・繁殖できる空間、あるいは小学校等で孵化させた地域種のゲンジホタル幼虫を放流し、その生活史を循環できるようなビオトープを造出し、地域の生物多様性を保護すると共に地域・自然と人とのふれあいの場をつくる。

平成17年6月: ビオトープ創りに向けての調査

①大山川のホタルの里を見学



②大谷川源流カワニナ調査



③大谷川源流のホタルの調査



平成18年3月: 中部大学応用生物学科鶴田君の春日井のゲンジボタル現状発表とディスカッション

### 研究発表

#### テーマ

1. 春日井市に見られるビオトープおよび社寺林の現状
2. 春日井市に見られる公園緑地の現状
3. 鳥と人との共生環境を目指して
4. 中部大学キャンパス内の茶室池とリサ水田におけるゲンジボタルの飛翔に関する実証的研究

平成18年6月14日: 大谷川源流ホタル調査



ゲンジボタル数匹発見



⇒ ビオトープ作りではなく、ホタル自然増殖のために堤の緑化や河川の改修を行うことに決定

### 3. 大谷川クリーン作戦

平成17年1月: 第1回

中部大学応用生物部環境生物科学科の谷山鉄郎教授と学生10名と協働

70Lのゴミ袋30袋が1時間半で一杯



平成22年2月: 第6回

オートバイ2台、タイヤ4、洗濯機等粗大ゴミを含め約500kgの収集



令和元年3月: 第15回

不法投棄は少なくなってきたが、今回は畳10枚と洗濯機の不法投棄



令和2年2月: 第16回

ごみの量はかつてほど大量ではないものの、相変わらず軽トラック一台分



## 4. 大谷川源流左岸の植樹

平成16年8月:尾張建設事務所と打ち合わせ

平成19年2月:「土地の占用及び工作物の新築等について」の許可出る



平成19年:2回の植樹祭を開いて、野生種13種も1,000本を植樹(苗木は三菱UFJ環境財団の支援)

①植樹前



②第1回植樹祭



③翌年から草刈りとごみ拾い実施



毎年の育樹活動で元気に成長

①草刈り作業



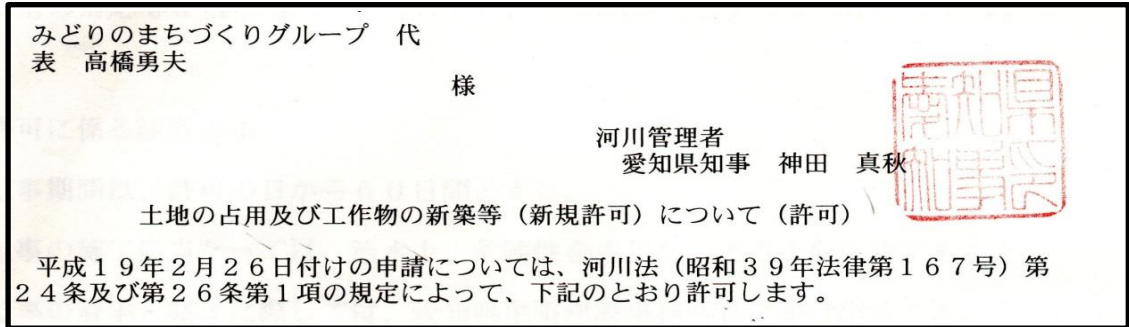
②現在は川沿いの散策路



③対岸からの眺め



④大きく育った木々



## 5. 大谷川源流右岸の花壇活動

平成15年:岩船神社前とんぼ池横で花壇活動開始(～平成18年)

平成19年2月:大谷川源流右岸の「土地の占用及び工作物の新築等について」の許可出る

平成19年6月:600㎡の花壇で活動開始

最初の花植えは「森のようちえん」  
の子供たち20名と協働



### 花壇の四季



### 花壇の活動 ①耕起



### ②苗、球根の植付け



### ③草取り



花の苗や球根はジャンボエンチョー高蔵寺店、西部ふれあいセンターの花ボラさん等多くの方から頂いています。  
またパートナーシップ会議、コープあいち福祉基金から助成金を頂いています。

# 6. 大谷川の自然

## 左岸植樹



## 野鳥



## 小動物



## 昆虫



## 水の中の生き

